

コロナ解雇5万人超

非正規中心 地方に波及

厚生労働省は一日、新型コロナウイルス感染拡大に
関連する解雇や雇い止めが、八月三十一日時点で見込
みも含めて五万三千二百六十六人になったと明らかにし
た。政府は雇用調整助成金の日額引き上げなど特定期
限を十二月末まで延長して対応するが、感染収束の兆
しは見えず、非正規労働者を中心に厳しい雇用状況が
続く。また十四道府県で千人を超え、観光や製造業
など主産業が打撃を受けた地方に波及していることも
浮き彫りになった。

福井は458人

厚生労働省は一月から新型コロナによる解雇と雇い止めを集計しており、累計では五月二十一日に一人、六月四日に二万人を超えた。その後は月に約一万人のペースで推移。都道府県の労働局やハローワークに相談があった事業所の報告に限られており、実際はもっと多いとみられる。

四半期契約で働く派遣労働者の多くは九月末に契約更新時期を迎える。通常は一カ月前に契約を継続しないとの通知を受けるため、八月末時点の集計には非正規労働者が多く含まれている可能性がある。

厚生労働省によると、八月二十八日までの累計で、最多は東京都の一万一千三百十二人。大阪府の四千九百九

四人、愛知県の二千五百九

十九人、北海道の二千八十八人、兵庫県の千七百三十八人が続いた。このほか千人を超えたのは岐阜県千四百九十八人、福井県は四百五十八人。

産業別では製造業が七千九百十八人と最多で、宿泊業が七千四百四十人、飲食業が六千九百十二人、小売業が六千二百五十七人。

